Tetra

テトラ オートワンタッチフィルター

取扱説明書　AT-S用

特許番号：4318630



●このたびは、テトラ オートワンタッチフィルター AT-Sをお買い上げいただき、誠に有り難うございます。
●正しく安全にお使いいただくために、使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、十分に理解してからご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、必要な時お読みください。

Japanese Version 100V 50/60Hz　01C35

安全にお使いいただくために

お使いいただく前に、取扱説明書をよくお読みご理解いただいてからお使いください。誤った使い方は、人、動物、財物の重大な事故につながる危険があります。お読みになった後は大切に保管し、必要な時には再読してください。

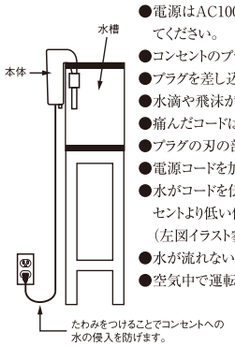
⚠警告　感電事故を避けるためにお守りください。





●始動前に必ず水漏れチェックをしてください。（設置方法1に従ってください。）
●水の中に手を入れる時は、必ずプラグを抜いてください。
●水漏れや事故の時は、直ちにコンセントからプラグを抜いてください。
●セット、点検、掃除、移動の時はプラグを抜いてください。
●濡れた手で、プラグの抜き差しをしないでください。
●強い衝撃を加えたり、落としたりしてはいけません。
●幼児、子供のいたずらや、接触転倒などに十分ご注意ください。
●子供が使う時は、大人が立ち会うようにしてください。
●改造して使わないでください。
●本器を水中に落とした場合、電源を切ってから取り出してください。

⚠注意　火災・漏電事故を避けるためにお守りください。



●電源はAC100ボルトの専用コンセントをお使いください。テーブルタップ（延長コード）の使用は避けてください。
●コンセントのプラグやコードに埃（ほこり）が被らないようにしてください。
●プラグを差し込む時は、隙間が出来ないよう、しっかりと押し込んでください。
●水滴や飛沫がプラグやコンセントを濡らさないようご注意ください。
●痛んだコードは、湿気や水滴により火災をおこす恐れがありますので使用しないでください。
●プラグの刃の部分、刃と刃の間の汚れは定期的に取り除いてください。
●電源コードを加工したり、ご使用の際にたばねたり、柱に打ちつけたりしないでください。
●水がコードを伝わってコンセントを濡らすと火災、感電の原因となります。水が侵入しないように、コンセントより低い位置にコードのたわみをつけるようにしてください。
（左図イラスト参照）
●水が流れない状態（モーターのロックや目詰まり）で電源を入れないでください。
●空気中で運転させないでください。

安全にお使いいただくために

⚠注意　本体による事故や故障を避けるためにお守りください。

●ストレーナーは必ずセットしてご利用ください。セットしないで使用すると魚や水草、異物の吸い込みにより停止、故障の原因となります。
●本体を洗浄する時、せっけん、洗剤を使用しないでください。
●ストレーナーの網目より小さな魚や砂は、フィルターに吸い込まれることがありますのでご注意ください。
●衰弱した魚や死んだ魚は、ストレーナー部に吸い込まれることがありますのでご注意ください。
●観賞魚水槽用フィルターです。それ以外の目的で使わないでください。
●屋内専用です。屋外では使用しないでください。
●正しい電源電圧周波数で使用してください。
●目づまりや汚れによる流量低下は故障の原因となりますので、ストレーナーやモーター部やインペラー部、吸水パイプ部は状況を見ながら定期的に掃除してください。
●水槽の水位に注意してください。モーターを空運転させますと、故障の原因となります。
●適合水槽は魚種、魚の数、環境によって違ってきますのでご注意してください。海水魚、大型魚など、特にパワーを必要とする場合は大きめのフィルターを使用してください。
●器具を本来の目的以外に使用しないでください。推奨されている製品もしくは当社製の付属品以外のものを接続すると、危険な状態になる場合があります。
●0度以下の条件にさらされる可能性のある場所に器具を設置したり、保管したりしないでください。
●作動前に、水槽にセット器具がきちんと設置されているか、水漏れがないか確認してください。
●コードは、つまづいたり、引っ張られたりすることがないように取り付けセットに注意してください。
●高水温となる夏季は、フタを取りはずすなど通気性を高め水温上昇を予防してください。
●酸素消費量の多い飼育状況や環境では、必ずエアーポンプを併用してください。
●魚病薬等を使用する際は、バイオバッグSを取り除いてください。バイオバッグSが薬効成分を吸着してしまいます。

テトラ製品のお取扱い方法・お手入れ方法・修理その他ご不明な点は、機種名をご確認の上、お買上げの販売店又は弊社にご相談ください。

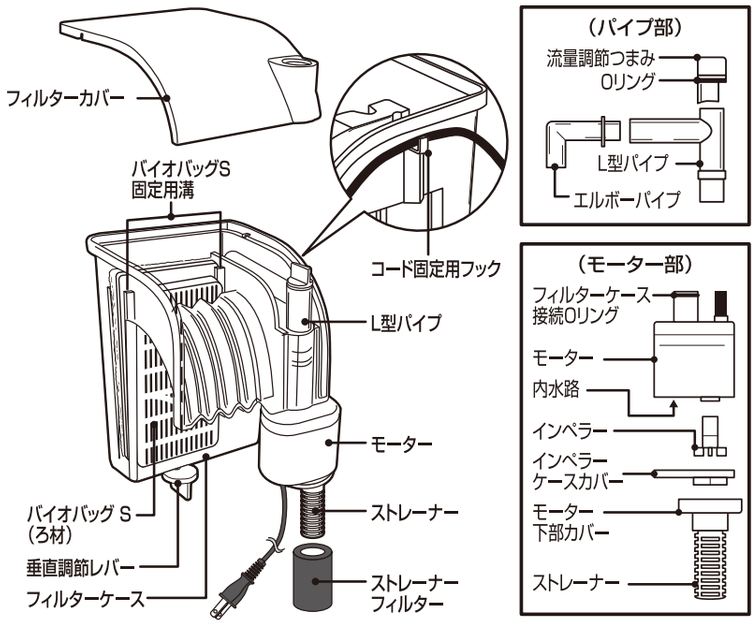
（弊社商品相談窓口）　テトラ インフォメーションセンター
○電話受付時間：月～金曜日　午前10:00～12:00　午後2:00～5:00　（祭日は休業いたします）
○電話番号：03-3794-9977
○お手紙の受付：（随時）宛先：〒153-0062 東京都目黒区三田1-6-21 アルト伊藤ビル
テトラ ジャパン株式会社　テトラ インフォメーションセンター行

情報がいっぱいのテトラ ホームページをご利用ください。 www.tetra-jp.com

⚠注意
●誤った使用方法、管理不十分による損害、魚、水草などの生体の病気、死亡、枯死については、弊社では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

各部の名称

注）イラストの一部はAT-20を流用しているため、AT-Sと多少異なります。

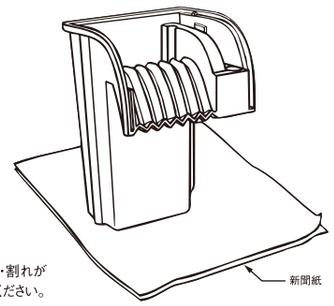


（ご注意）
●AT-Sの場合、水槽幅10cm以上の水槽でご利用ください。
●水槽の内寸高さが14cm未満の水槽には装着できません。
●水槽の枠（フレーム）の幅が9mmを超える水槽には装着できません。

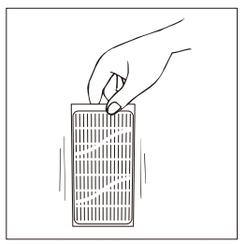
設　置　方　法

4ページの 各部の名称 を参考に組み立てます。
フィルターカバーを取りはずしバイオバッグS、モーター部のモーターとストレーナー、
パイプ部のL型パイプとエルボーパイプを取りはずします。

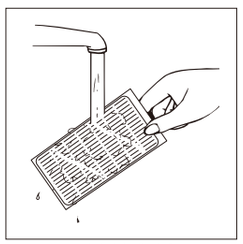
1 輸送等により破損していることがありますので、水漏れがないかを必ず確認します。
各部を外見から目視でチェックした後、フィルターケース内にぬるま湯を満杯に入れて新聞紙の上に15分程置き、水が漏れていないかどうかチェックします。この時、本体に取り付けられている垂直調節レバーとモーター部、パイプ部の各パーツを取りはずして確認作業を実施してください。破損や水漏れがあるようでしたら、使用を中止し販売店にお知らせください。



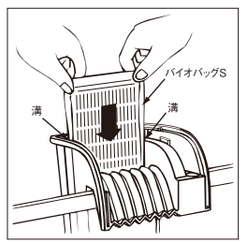
⚠注意
輸送等により破損している場合がありますので、本体にキズ・割れがないか、水漏れがないか必ず上記方法で確認してからご使用ください。



2 バイオバッグSをビニール袋より取り出し、図のように軽くふり、下部に吸着ろ材を集めます。

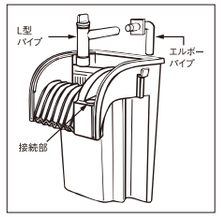


3 水道水でバイオバッグSを軽くすすぎます。

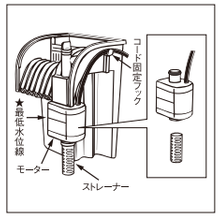


4 両手でしっかりと図のようにフレーム部を持って、バイオバッグS固定用溝にバイオバッグSの両端を入れ、底部に届くまでしっかりとセットします。

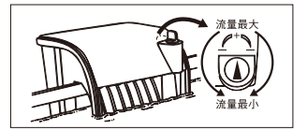
設　置　方　法



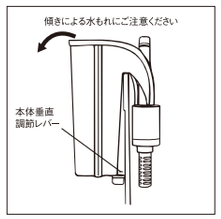
5 吸水パイプ部のL型パイプとエルボーパイプを接続し、フィルターケース本体のL型パイプ接続部にセットします。



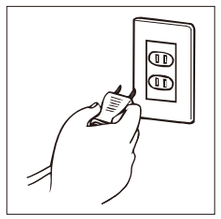
6 モーターにストレーナーを接続し、
フィルターケース本体のモーター接続部にセットしてからストレーナーフィルターを被せてください。（※モーターはコードが出ている側がフィルターケース本体の接続部となります）
ストレーナーは水槽の底の砂利などに接触しないようにしてください。砂を吸い込みますと停止し、故障の原因となることがあります。
※モーターから出ているコードは、フィルターケース本体のコード固定フックにコードを掛けてご使用ください。
★水位はモーターの最低水位線より上になるように調節してください。



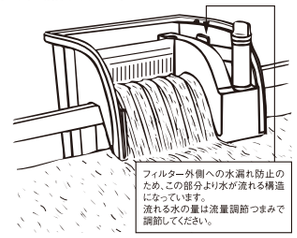
7 フィルターケースが水槽の外側になるように水槽枠にセットし、流量調節つまみを＋（プラス）側に回し、流量が最大になるように調節します。



8 フィルターケース下部に垂直調節レバーを取り付けて垂直調節レバーを回し、フィルターケース位置をなるべく垂直に近づけてください。
※水槽設置時に本体フィルターケース部が垂直でないと、運転時にフィルターケースより水があふれる場合があります。



9 プラグをコンセントに差し込み電源を入れます。これによりモーター部が自動的に水を吸水し始めます。（それでも運転しない場合12ページの「故障異常の見分け方と処置方法」をご参照ください。



10 水槽の水面位置は、水槽最上部より1～3cm下がった部分が水面になるように水槽の水位を調節します。十分に水の流れが確認できましたら、フィルターケース本体にフタをしてセット完了です。
※酸素を多く必要とする場合、エアーポンプによるエアーレーションを併用してください。